

FM79.7MHz 京都三条ラジオカフェ
第 159 回 番組審議会

開催日時：2023 年 12 月 21 日（木）19：00～20：00
会 場：ラジオカフェ事務所、Zoom 併用
委 員：中村正、岡田芳宏、岡田真彰
欠 席：岡本卓也、隅井美沙子、ジェフ・バーグランド、林田陽子
事 務 局：藤本香

ゲスト：「深夜のお手紙ラジヲ」<https://radiocafe.jp/202308002/?intro=1>
毎月第 4 金曜日 深夜 0:30-03:33（3 分番組）
制作者：中野佳恵 お助け隊(村井琢哉さん)

■放送趣旨と、2023 年 8 月 25 日・12 月 22 日の放送回を聴いて審議に入った

周りは「大人が怖い」という。就活等を通してそう思っていることが多く、自分もそう思っていたことがあるが、いろいろな人に会う中で大人も悩んだりしていることを知り、怖い気持ちはなくなった。それを私が伝えても又聞きにしかならないから、「手紙」を使ってみようと思った。

- ・怖いと思われる側として、番組の出発点を嬉しく思う。
- 書いてもらう人はどう選んでいるのか。回を重ねて、大人への“怖さ”は変化したか？
→書き手は“怖いおじさん”でなくても良い。直接会った人にこの番組の話をして、興味を持ってくれた人に書いてもらっている。今は「過去の自分に手紙を書くなら、みんなどう書くのだろう」ということに関心を持っている。
- ・放送主体が個人なのが良い。「個人がおこなう」というのは市民社会の基本である。
- ・書き手が出資するという仕組みが良い。どの程度の額になるのか。
→1000 円少し。体験を売っていると思う。自分が出す形では長くは続けられないと感じた。長く続けることが大事で、自分以外の人間に引き継ぐことも考えている。この世にある手紙の量が増えると良い。
- ・意見として言いたいことは、構成うんぬんではなく長く続けられるために何ができるのか。一緒に考えたいと思った。
- ・ある意味の素人っぽさが良い。「読む」スタイルの番組は他でもあると思うが、手紙で終わる・その後何も付け足さない終わり方は斬新で他にはないと感じた。月 1 と言わず、もう少し放送間隔を短くしてほしい。
- ・長く続けることで、ゆくゆくはリスナーが書く側に回る という展開もありそうで面白い
- ・紙に残す、音声に残すことが、蓄積していくと貴重な何かになると思う

この審議会の議事録は 2023 年 12 月 22 日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の 2023 年 12 月 22 日から WEB サイトで公開した。